

令和4年度事業報告

本県の水と緑に恵まれた快適な環境を次世代に継承していくため、県民やNPO法人・団体、学校、企業、行政等との連携及び情報の共有化を図り、協働して環境保全活動の普及啓発に努めた。特に、県民一人ひとりに、環境負荷の低減につながる実践的な行動を起こしていただくことを目指して各般の事業を展開した。

具体的には、『協働推進事業』として、環境とやま県民会議、富山県県土美化推進県民会議による県民運動、事業等を推進するとともに、市町村との環境パートナーシップ事業、フードドライブマッチング推進事業、環境保全活動活性化事業等により、環境ネットワークの形成を推進した。

『環境教育推進事業』として、とやま環境未来チャレンジ事業や自然解説事業などを実施した。

『普及・啓発事業』については、とやま環境フェアなどの啓発イベント等を実施するとともに、当財団ホームページやエコノワとやまウェブサイト等により、環境保全・温暖化防止活動に係る情報を発信した。

『地球温暖化防止活動推進センター事業』については、地球温暖化防止活動推進員の活動支援、国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の普及啓発などを展開した。

さらに、『エコアクション 21 地域事務局事業』として、制度の普及啓発を実施するとともに、新たな事業者の認証・登録を促進した。

なお、本年度の事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じて行い、会議の書面開催や行事のオンライン開催等の方法も取り入れて実施した。

1. 協働推進事業

県民やNPO法人・団体、企業、行政等が幅広く連携し、環境保全活動を協働して展開する基盤として、環境ネットワークの形成とその拡大に努めた。

(1) 県民運動等の推進

脱炭素・循環型社会の構築をめざし、県民・企業・行政が一体となった県民総ぐるみの運動を展開した。

ア 環境とやま県民会議総会の開催

脱炭素・循環型社会の構築をめざし、県民、事業者、報道機関、行政等の協力のもと、県民総ぐるみでエコライフスタイルを積極的に推進するため、総会を書面開催し、活動の実施状況や活動計画を共有した。

イ 環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」の開催

とやま環境フェア 2022 に併せて、環境とやま県民会議の普及啓発イベントとして、「エコフェスとやま」を実施した。また、イベント内で実施した「環境保全に係る表彰式」において、環境とやま県民会議会長表彰を実施した。

<イベント概要>

環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」

- ・ 開催期日 令和4年10月10日(月・祝)
- ・ 会場 富山市民プラザ 4F アンサンブルホール

- ・ 次 第
 - a 環境保全に係る表彰式
 県部門功労知事表彰、環境とやま県民会議会長表彰、
 とやまエコ・ストア連絡協議会会長表彰、
 環境ポスターコンクール表彰（ポスターはホワイエに展示）
 - b ローカルSDGs（地域循環共生圏）の集い（後掲）
 - c 2030 SDGs カードゲーム体験会
 ～親子で地球温暖化対策について楽しみながら考えてみよう～
 - d ドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー
 ～ぼくらが作る2050年～」上映

<表彰概要>

環境とやま県民会議会長表彰

ごみゼロ・リサイクルの推進に該当する活動	1 事業所
地球温暖化対策の推進に該当する活動	4 個人、1 団体
とやまエコ・ストア制度に関する活動	1 事業所

ウ 富山県県土美化推進県民会議総会の開催

県民総ぐるみの「県土美化推進運動」を展開し、うるおいとやすらぎのある住みよい郷土をつくるため、活動報告及び活動方針をとりまとめ、総会を書面開催し、活動の実施状況や活動計画を共有した。

エ 県土美化推進功労者表彰式の開催

地域の清掃美化活動に貢献し、他の模範となる個人や団体を県土美化推進功労者として表彰した。

- ・ 開催日 令和4年4月19日（火）
- ・ 開催場所 富山国際会議場2階多目的会議室（201～203）
- ・ 受賞者 知事表彰 個人1名、団体3団体
 会長表彰 個人7名、団体16団体

オ 「みんなできれいにせんまいけ大作戦」の展開

富山県の貴重な財産である美しい海岸を保全するため、市町村等と連携して県内各所で一斉清掃活動を展開する「みんなできれいにせんまいけ大作戦」について、海岸美化啓発イベントを開催するとともに、運営支援、普及啓発等を実施した。

- ・ 実施期間 令和4年6月1日（水）～9月30日（木）
- ・ 参加人数 30,016人 【R3年度：20,169人】

① 清掃美化啓発イベント（海岸特別清掃）の開催

- ・ 開催日 令和4年7月3日（日）
- ・ 開催場所 高岡市松太枝浜
- ・ 参加者 地元住民など約1,000名

② 運営支援

県内各市町村の清掃美化活動に対し、活動資材の提供等の支援

③ 普及啓発

清掃活動予定を記載したチラシを作成、配布するとともに、ホームページ等で周知

(2) 環境ネットワーク形成事業

県内企業、関係団体等の環境保全活動の情報を発信するホームページ「エコノワとやま」の活用を図るとともに、県民、NPO法人、企業、行政等と連携した環境保全活動の主体のネットワーク化や事業の協働化に取り組んだ。

ア 企業等環境保全活動支援事業

企業とNPO法人等の連携・協力を推進するため、情報提供や意見交換の場を提供するとともに、環境イベントへの参画を支援した。また、環境保全意識の高揚、知識の普及啓発及び将来の指導者育成を図るため、企業、学校、団体等の要請に応じ、環境保全活動の専門家や地球温暖化防止活動推進員などを講師として派遣した

① 「とやま環境フェア 2022」への参加支援

ウェブ会場及び小規模リアル会場において、企業・団体等のブースを設けて出展を募集し、環境保全の取組み等の発信を支援した。

② 出前講座の実施

- ・ 実施回数：11回、受講者数：851名 【R3年度：10回、525名】

イ 市町村との環境パートナーシップ事業

市町村とのパートナーシップを形成し、環境保全活動における連携・協力を推進するため、各市のエコライフ・イベント等の事業を支援するとともに、当財団として出展・参加して、財団事業や環境保全行動を広報、啓発した。

- ・ 実施内容 とやま環境フェア 2022 への出展参加、各市の環境フェア・イベントの開催及び参加、啓発資材の作成・配付等
- ・ 参加等人数 延べ5,422名 【R3年度：6,543名】

ウ サルベージ・サポーターマッチング事業

手付かず食品の削減に有効なサルベージ・パーティ（家で余っている食材を持ち寄って調理すること）の普及のため、県の認定を受けたサルベージ・サポーターの活動支援を行うとともに、取組み拡大に向けた普及啓発を行った。

- ・ サルベージ・パーティの実施支援
実施回数：7回、参加者数：157名 【R3年度：4回、46名】

エ フードドライブマッチング推進事業

家庭での食品ロス削減の取組みを促進するため、未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブの実施を関係団体などに呼びかけ、リレー形式でフードドライブを実施するとともに、その結果をホームページやポスターで普及啓発した。また、地域の実情に応じた未利用食品のローカル循環及び常設窓口（無人）設置の水平展開を推進するため、各団体との調整、マッチング支援を行った（5事例（うち、常設窓口4事例））。

このほか、フードドライブの好適事例の情報を収集するとともに、8事例を掲載したパンフレット（500部）を作成した。

さらに、フードドライブを含めた食品ロス削減の取組みを推進するため、児童向け新聞において啓発を行った（発行部数：県内小学校 57,000部）。

オ 豊かな地下水保全事業

本県の豊かで清らかな地下水を県民共有の貴重な財産として、将来にわたり守り育てていくため、消雪設備の節水や名水・湧水の保全など地域に根差

した地下水保全活動を担う「地下水の守り人」について、講習会を開催するなど活動を支援した。

① 守り人講習会の開催

- ・ 開催日等 令和4年11月21日（月）
- ・ 開催方法 リアル会場（富山県民会館）、オンライン、動画配信
- ・ 内 容 富山の水循環と気候変動、
富山県の地下水の現状及び保全の取組み等
- ・ 参加者 守り人等 45名
(一般にも動画配信した視聴数を含む。)

② 守り人の活動支援

守り人の活動情報を財団機関紙やホームページで紹介するとともに、消雪設備維持管理用の器具等の貸出し等の活動の支援を行った。

カ 環境保全に関する相談事業

環境保全相談室を設置し、環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、ごみ減量化やリサイクル等に関する相談に応じるとともに、情報提供、活動支援及びこどもエコクラブの育成等を行った。

キ 環境保全活動活性化事業

① 環境関係法規の手引の作成・頒布（収益事業）

環境保全活動を活性化し、企業等の取組みを支援するため、「令和4年版環境関係法規の手引」を作成し、有償頒布した。

- ・ 頒布先等 県内企業、団体等 120冊 【R3年度： 108冊】

② 脱炭素経営に係るセミナーの開催等

事業者における脱炭素化に向けた取組みを効果的に推進するため、関係機関等との情報交換を行うとともに、脱炭素の必要性や脱炭素経営支援メニューの事例を紹介するセミナーを開催した。

また、中小企業の脱炭素経営を支援するため、「脱炭素経営スタートガイド ～なぜ、今脱炭素経緯なのか～」を作成・配布した。

a 企業の脱炭素経営に係る情報共有・交換会

- ・ 開催日 令和4年6月30日（木）
- ・ 開催方法 リアル会場（サンシップとやま）、オンライン
- ・ 参加者 15名（事業者団体、国・自治体、支援機関、
金融機関等）
- ・ 内 容 開催趣旨、脱炭素経営支援事業実施計画、
関係機関・団体等の取組み

b 脱炭素経営セミナー

- ・ 開催日 (a) 脱炭素経営促進セミナー
令和4年8月26日（金）
(b) 中部8県市共同 脱炭素経営セミナー
令和4年9月22日（木）、令和5年1月24日（火）
- ・ 開催方法 オンライン、動画配信（ライブ配信、後日配信）
- ・ 参加者数 延べ243名

- ・ 内 容 (a) 富山県のカーボンニュートラル施策、
省エネ支援サービス、
脱炭素化支援メニューや導入事例
- (b) 脱炭素経営に取り組む必要性、世界の動きなど
- c 脱炭素経営スタートガイド
 - ・ 内 容 脱炭素経営が求められる背景、
県内での脱炭素経営の取組事例紹介、
脱炭素経営を進める際に役立つ情報を項目別に紹介
 - ・ 発行部数等 3,500部、県内企業・団体に配布、
ホームページに掲載（リンク集付き）

ク 行事等への後援・協賛

県、市町村、地域活動団体等が主催する行事等への後援・協賛を実施した。

- ・ 後援・協賛・共催事業件数 18件 【R3年度： 10件】

ケ 環境保全活動機材等の提供・貸出し

各市が実施するイベントや推進員の活動に対し、資機材の提供、貸出しを実施した。

- ・ 貸出件数 70件 【R3年度： 37件】

2. 環境教育推進事業

環境保全活動の継続と拡大を図るため、学校や地域社会で環境保全に対する理解を深め、取組意欲の高揚を図る環境教育を推進するとともに、各団体等が実施する活動を支援した。

(1) とやま環境未来チャレンジ事業

小学4年生を対象に、エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、小学校に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「とやま環境チャレンジ10」を実施した。

- ・ 開催時期 令和4年6月～12月
- ・ 実施校数 県内全市町村 小学校 63校 【R3年度： 70校】
- ・ 参加者数 児童 3,038名 【R3年度： 3,543名】
- ・ 内 容 小学校教諭や推進員による授業、
児童・家族による地球温暖化防止や3Rの推進、
食品ロス削減等のための取組みの実践（10項目、4週間）

(2) はじめてのエコライフ教室

幼児期から、家族ぐるみでエコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。

- ・ 開催時期 令和4年6月～12月
- ・ 実施園数 15園 【R3年度： 12園】
- ・ 参加者数 幼児 371名、保護者 83名 【R3年度： 390名、25名】
- ・ 内 容 省エネやごみ分別等のエコライフの説明、
児童・家族によるエコライフの取組み実践（3項目、1週間）

(3) こどもエコクラブの支援

こどもエコクラブの富山県事務局として、こどもエコクラブの育成及び活動支援を行った。

- ・ 登録クラブ数 39クラブ 【R3年度: 39クラブ】
- ・ メンバー数 1,059名（3歳～高校3年生） 【R3年度: 988名】

(4) エコドライブ推進事業

気軽にエコドライブを体感できるシミュレータを活用したエコドライブ体験会を開催し、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。

- ・ 開催日 令和4年10月9日（日）、10日（月・祝）
- ・ 開催場所 富山市民プラザ 2Fアートギャラリー
（とやま環境フェア2022リアル会場）

(5) 自然解説事業

自然保護意識の高揚を図るため、県内4地区に自然解説員(ナチュラリスト)を配置し、自然解説を実施した。また、活動業務打合せ会及び活動業務報告会を開催するとともに、ナチュラリストの資質向上及び支援を目的とした研修会を開催した。

① 自然解説

- ・ 配置期間 令和4年4月29日（金）～11月3日（木・祝）

配置場所及び人数一覧

配置場所	ねいの里	頼成の森	称名地区	立山地区		計
				室堂平	弥陀ヶ原	
配置人数	61名	61名	96名	165名 (472名)	117名 (333名)	500名 (1023名)

※（ ）は、配置延べ人数

【R3年度: 計330名（466名）】

② 活動業務打合せ会

- ・ 開催日 令和4年4月16日（土）
- ・ 開催方法 リアル会場（サンシップとやま福祉ホール）、オンライン
- ・ 参加者 104名

③ 活動業務報告会

- ・ 開催日 令和4年12月10日（土）
- ・ 開催方法 リアル会場（サンシップとやま福祉ホール）、オンライン
- ・ 参加者 73名

④ 研修会

第1回 令和4年5月18日（水）

- ・ 開催方法 リアル会場
（富山県科学博物館プラネタリウム及び研修室）
- ・ 参加者 48名
- ・ 内容 四季の星空観察の方法

第2回 令和4年6月21日（火）

- ・ 開催方法 オンライン、会場視聴（富山県森林水産会館）
- ・ 参加者 42名
- ・ 内容 世界の土、とやまの土

第3回 令和4年12月10日(土)

- ・ 開催方法 リアル会場(サンシップとやま福祉ホール)、
オンライン
- ・ 参加者 73名
- ・ 内容 日本海の環境変化

3. 普及・啓発事業

啓発イベントを開催し、環境保全意識の高揚とエコライフ実践の拡大を図った。また、ホームページやメールマガジン、機関紙「きょうせい」等の媒体により、環境保全・地球温暖化防止活動の情報を発信し、先駆的な取り組みを実施している団体・企業等を紹介するとともに、環境保全に関する普及啓発を行った。

(1) 啓発イベント等実施事業

ア 「とやま環境フェア2022」の開催(富山県、富山市、環境とやま県民会議と共催)

家庭や企業活動において、環境に配慮した新しいエコスタイルや脱炭素の取り組みを普及・定着するため、家庭で閲覧・参加できるウェブ会場とともに、県民や出展者間で顔の見える交流が可能なリアル会場において、体験・体感型を中心とするブース出展やステージイベントの開催を併用し、感染症対策やにぎやかで楽しめるイベントとなるよう配慮して開催した。

① ウェブ会場

- ・ 開催期間 令和4年10月7日(金)～令和5年1月9日(月・祝)
- ・ 参加者数等 閲覧ユーザー数 5,840人 【R3年度: 7,206人】
トップページ・ビュー数 7,959ビュー
【R3年度: 14,237ビュー】
- ・ 出展者数 82団体・企業 【R3年度: 59団体・企業】
- ・ 内容

<出展者ブース>

出展者自らが、環境保全の取り組み等を入力し、情報を発信。閲覧者は、リアクションボタンで反応

<イベントコンテンツ>

- ・ 地元スポーツ・ダンスチームからのエコメッセージ&クイズ動画
- ・ きっずページ(子ども向け環境学習コンテンツ)
- ・ 動画で知ろう とやまの環境(県環境施策の解説)
- ・ リアルイベント・アーカイブ
「ローカルSDGsの集い」の録画動画、映画「マイクロプラスチック・ストーリーぼくらが作る2050年」オンライン上映

② リアル会場

- ・ 開催期日 令和4年10月9日(日)、10日(月・祝)
- ・ 会場 富山市民プラザ 2Fアートギャラリー
- ・ 参加者数 895人 【R3年度: 449人】
- ・ 出展者数 20団体・企業 【R3年度: 16団体・企業】
- ・ 内容

<出展者ブース>

工作や実験等の体験型活動、機器・製品等の実物(立体物)等の展示

<特設ブース>

「みんなで育てる!エコツリー」(参加者のメッセージ・ツリー)

<ステージイベント>

環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」の開催（再掲）

- ・ 開催期日 令和4年10月10日(月・祝)
- ・ 会場 富山市民プラザ 4F アンサンブルホール
- ・ 次第
 - a 環境保全に係る表彰式
県部門功労知事表彰、環境とやま県民会議会長表彰、
とやまエコ・ストア連絡協議会会長表彰、
環境ポスターコンクール表彰（ホワイエでポスター展示）
 - b ローカルSDGs（地域循環共生圏）の集い
 - c 2030 SDGs カードゲーム体験会
～親子で地球温暖化対策について楽しみながら考えてみよう～
 - d ドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー
～ぼくらが作る2050年～」上映

③ 実行委員会の開催

主催者、主要団体等で構成する開催委員会の元に設置された実行委員会を3回開催し、事業計画や円滑な推進について審議した。

(2) 環境保全・温暖化防止活動情報発信事業

ア ホームページによる情報提供

ホームページにより、財団事業の紹介、イベント案内など環境関連情報を発信した。

イ メールマガジン「とやまエコ通信」の配信

環境関連イベントの情報、国・県等からのおしらせ、募集事項などの情報を掲載したメールマガジンを毎月配信した。

- ・ 配信回数 毎月末12回、号外4回
- ・ 配信先 県民、企業、市町村、関係団体等 430件
【R3年度：418件】
- ・ 配信内容 環境関連イベントの情報、国・県・関係団体等からのお知らせ（周知、案内、募集、啓発）等

ウ 「エコノワとやま」による情報発信

県内のNPO法人等の環境保全活動に関する情報を集約・発信して環境保全活動を支援する参加型のホームページ「エコノワとやま」を運営した。

- ・ 掲載団体数 150団体
【R3年度：151団体】

エ 「ローカルSDGs（地域循環共生圏）の集い」の開催

ローカルSDGs（地域循環共生圏）の取組みへの理解を深め、環境保全活動の活性化を目指すため、環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」においてパネル・ディスカッションを行った。

- ・ 開催日 令和4年10月10日(月・祝)
- ・ 開催方法 リアル会場（富山市民プラザ4F アンサンブルホール）、
とやま環境フェア2022 ウェブ会場(アーカイブ録画配信)
- ・ 発表者等 南砺市エコビレッジ推進課、黒部市社会福祉協議会、
富山県立大学、富山県立氷見高校
(コーディネータ：富山県生活環境文化部次長)

- ・ 内 容 自治体による地域循環、
環境保全活動団体による食品の地域循環、
大学による学校用品の地域循環、
高校による水産と農業の連携による地域循環

オ 機関紙の発行

財団の事業内容、県内の環境活動団体の紹介、環境に関する情報提供を行うため、機関紙「きょうせい」を発行した。

- ・ 発行回数 年2回（19号8月、20号1月）
- ・ 発行部数 3,000部、ホームページに掲載
- ・ 配布先 県、市町村、出捐企業、賛助会員、関係団体、学校等

4. 地球温暖化防止活動推進センター事業

富山県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動アドバイザーを配置し、地球温暖化対策や省エネに関する相談窓口の設置及び温暖化防止の普及啓発、地球温暖化防止活動推進員の活動支援を行った。

また、地球温暖化対策推進法の改正を受け、新たに事業者における脱炭素化を推進するためのセミナー開催等の支援を行った。

(1) 地球温暖化防止活動アドバイザーの設置事業

地球温暖化防止に向けて、県民からの相談に対応するとともに、県民に対する普及啓発や指導助言、調査業務を行った。

(2) 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業

県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員に対して、研修会の開催、情報提供及び資料・資料の提供等を通じて、活動を支援した。

<推進員研修>

- ・ 開催回数等 5回（リアル会場、オンライン開催、動画配信）
- ・ 参加者数 延べ222名 【R3年度：98名】
- ・ 内 容 プラスチック資源循環施策、
推進員活動事例・とやま環境チャレンジ10授業事例、
地域での脱炭素活動・経営の事例紹介、
県内自治体におけるSDGs・地球温暖化防止の啓発事例、
SDGsボードゲーム体験、
とやま環境フェア2022推進員出展ブースやローカルSDGsの集いへの参加

(3) とやま環境未来チャレンジ事業（再掲）

(4) 地球温暖化防止活動促進事業（(一社)地球温暖化防止全国ネット補助事業）

富山県から指定を受けている「富山県地球温暖化防止活動推進センター」としての基盤強化を図るため、地球温暖化防止に関する情報の集積や地球温暖化防止に資する人材育成等の事業を行った。

(5) 環境保全に関する相談事業（再掲）

環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、地球温暖化対策等に関する相談に応じた。

(6) 環境保全活動活性化事業

- ・脱炭素経営に係るセミナーの開催等（再掲）

(7) ゼロカーボンアクション普及促進事業

ゼロカーボンアクションに関する3つのミッション（知る、考える、参加・行動する）へ挑戦を通じて、気候変動について考え、脱炭素型ライフスタイルへの転換を推進するキャンペーン（ウェブ）をとやま環境フェア2022 ウェブ会場に併せて実施し、市町の協力を得て、パネルを巡回展示するなど、周知啓発を展開した。

- ・ 期 間 令和4年10月7日（金）～令和5年1月9日（月・祝）
- ・ パネル展示 8市町

5. エコアクション21 地域事務局事業

(1) エコアクション21 制度の普及啓発

ア 企業・団体等への普及啓発の実施

学識者や関係の事業者団体で構成する「エコアクション21 普及戦略会議」を開催し、エコアクション21の普及推進について検討し、普及啓発への協力を依頼した。また、ホームページやメルマガ、とやま環境フェア2022 ウェブ会場への掲載により、制度の普及啓発を図った。

<普及戦略会議>

- ・ 委 員 7名（学識者、県、商工会議所等、事業者団体）
- ・ 開催日等 第1回 令和4年6月30日（木） サンシップとやま
第2回 令和5年3月10日（金） オンライン開催
- ・ 内 容 地域事務局事業の報告、地域事務局事業の計画、普及に係る今後の取組み、企業の脱炭素化の推進等

イ フォローアップセミナー「環境経営促進セミナー」の開催

エコアクション21 認証・登録事業者による交流を促進し、環境経営の理解促進と取組みの活性化を支援するため、フォローアップセミナーを開催した。

（認証・登録事業者以外の一般事業者にも参加を呼びかけ）

- ・ 開催日 令和5年2月7日（火）
- ・ 開催方法 リアル会場（富山県民会館）、オンライン
- ・ 参加者 41名 【R3年度： 49名】
- ・ 内 容 事例発表 今日から始める脱炭素
～CO₂排出量50%削減を目指して～
部門別の環境経営活動の推進
～「きづきカード」によるカイゼン～
実践的な省エネの進め方（省エネ診断や補助金の活用）、
情報交換・名刺交換

(2) エコアクション21 認証・登録事業（収益事業）

事業者からの審査申込の受付、審査員の選任、審査報告書の受付、認証・登録の可否を審査する判定委員会への送付、中央事務局への判定結果の報告等を行った。

- ・ 認証・登録事業者数 105社 【R3年度： 108名】

(3) エコアクション21 自治体イニシアティブ・プログラムの推進

富山県と共催で“エコアクション21 自治体イニシアティブ・プログラム”を実施し、認証取得を目指す事業者の募集と指導講習を行い、認証取得を推進した。

- ・ 実施期間 令和4年8月～令和5年1月
- ・ 開催回数 6回（事前セミナー1回、講習会5回）
- ・ 開催方法 リアル会場（富山県森林水産会館）
- ・ 参加者 エコアクション21 認証取得を目指す事業者 5社
【R3年度： 8社】
- ・ 内 容 ガイドラインの説明、認証取得に向けての指導講習

6. 運営体制強化事業

協働推進事業をはじめとする事業について、現状や課題を踏まえ、「意識啓発」から「協働・実践」へと効果的・効率的な展開を図るため、次の事項について検討、実施した。

- ・ 最新の環境関連情報の収集及び職員の能力形成
- ・ 企業等との連携・協働の強化等のため、アンケート等によるニーズの把握や事業の検討
- ・ 財政基盤強化のための賛助会員の確保等の働きかけ
- ・ 迅速、簡便な更新作業による情報発信の強化、スマートフォンでの閲覧やセキュリティ確保などに対応する新たなホームページ・システム導入に向けての検討

(参考資料1)

1 会議の開催状況

(1) 理事会

開催日	名称	開催場所	出席者数	議題等
R 4. 4. 1	第53回理事会	(書面)	理事 11名 監事 1名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 理事の選任について 監事の選任について
R 4. 4. 1	第54回理事会	(書面)	理事 13名 監事 2名	・代表理事(専務理事)の選任について ・常勤の理事に対する報酬等の額を定める件について
R 4. 4. 20	第55回理事会	(書面)	理事 12名 監事 2名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 理事の選任について
R 4. 6. 7	第56回理事会	富山県民会館 701号室	理事 12名 監事 1名	・令和3年度事業報告及び収支決算について ・定時評議員会の開催の議決について 定時評議員会の議決事項 令和3年度事業報告及び収支決算について 役員の改選について
R 4. 7. 19	第57回理事会	(書面)	理事 12名 監事 2名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 理事の選任について
R 4. 11. 2	第58回理事会	(書面)	理事 13名 監事 2名	・評議員会の開催(書面)の議決について 評議員会の議決事項 評議員の選任について
R 5. 3. 28	第59回理事会	富山県民会館 701号室	理事 11名 監事 1名	・令和4年度事業報告(見込み)について ・令和4年度収支予算の補正について ・令和5年度事業計画及び収支予算について ・令和5年度資金運用計画について

(2) 評議員会

開催日	名称	開催場所	出席者数	議題等
R 4. 4. 1	第37回評議員会	(書面)	評議員 7名	・理事の選任について ・監事の選任について
R 4. 4. 20	第38回評議員会	(書面)	評議員 7名	・理事の選任について

R 4. 6. 30	第 39 回 評議員会	(書面)	評議員 6 名 理事 2 名 監事 2 名	・ 令和 3 年度事業報告及び収支決算について
R 4. 7. 19	第 40 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	・ 理事の選任について
R 4. 11. 2	第 41 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	・ 評議員の選任について

(3) 環境とやま県民会議及び県土美化推進県民会議

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 4. 4. 19	富山県県土美化推進功労者表彰式	富山国際会議場 2 階多目的会議室	35 名	・ 富山県県土美化功労者表彰
R 4. 4. 19	県土美化推進県民会議総会	(書面)	85 団体	・ 令和 3 年度県土美化推進運動の実施報告 ・ 令和 4 年度県土美化推進運動実施要領
R 4. 6. 29	環境とやま県民会議第 1 回幹事会	(書面)	20 名	・ 令和 3 年度事業報告 ・ 令和 4 年度事業計画
R 4. 7. 8	環境とやま県民会議総会	(書面)	113 団体	・ 令和 3 年度事業報告 ・ 令和 4 年度事業計画
R 4. 9. 14	環境とやま県民会議第 2 回幹事会	(書面)	20 名	・ 令和 4 年度環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」実施要領について ・ 令和 4 年度環境とやま県民会議会長表彰受表彰者の選考
R 4. 10. 10	環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」	富山市民プラザ 4F アンサンブルホール	335 名	・ 環境保全に係る表彰式（環境とやま県民会議会長表彰等） ・ ローカル SDGs（地域循環共生圏）の集い ・ 2030 SDGs カードゲーム体験会 ・ ドキュメンタリー映画上映
R 5. 3. 17	県土美化推進県民会議幹事会	(書面)	22 名	・ 令和 4 年度県土美化推進運動の実施状況 ・ 令和 5 年度県土美化推進運動実施要領 ・ 県土美化推進功労者の選考

2 基本財産等の状況

(1) 基本財産

(単位；千円)

区 分	目 標 額	R3年度末 受領額	R4年度増減額	R4年度末 受領額
県	200,000	200,000	0	200,000
市町村	100,000	100,000	0	100,000
民 間	300,000	284,900	0	284,900
計	600,000	584,900	0	584,900

(2) 環境保全活動推進基金

(単位；千円)

区 分	R3年度末 受領額	R4年度増減額	R4年度末 受領額
民 間	46,530	0	46,530

(3) 賛助会員

区 分	会 員 数	賛助会費額	備 考
個 人	171名 (186名)	326千円 (336千円)	2,000円／人
法人・団体	339団体 (344団体)	7,930千円 (8,110千円)	10,000円／口
計	個人・団体	8,256千円 (8,446千円)	

※かっこ内は令和3年度